

4

M	T	W	T	F	S	S
3	4	5	6	7	1	2
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

4/8—6/11
館所蔵品精選展

当館所蔵のコレクションから梅野コレクションを中心に精選した作品を展示します。



今西中通
「風景」

5

M	T	W	T	F	S	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6

M	T	W	T	F	S	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7

M	T	W	T	F	S	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8

M	T	W	T	F	S	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9

M	T	W	T	F	S	S	
					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30		

10

M	T	W	T	F	S	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11

M	T	W	T	F	S	S	
			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30				

12

M	T	W	T	F	S	S	
					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

1

M	T	W	T	F	S	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2

M	T	W	T	F	S	S		
					1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29					

3

M	T	W	T	F	S	S	
					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

特別展

9/9—11/26
All is vanity.
虚無と孤独の画家
—山本弘の芸術



山本弘「流木」

山本弘は、青春期を戦中、戦後混乱期に過ごし、価値観が逆転した社会の中で幾度も自殺を試みるようになります。そして過度の飲酒によりアルコール中毒となって入退院を繰り返し、51歳で縊死しました。脳血栓のため手足が不自由になった山本弘は、絵具を混ぜずにパレットナイフで描くようになり、奔放な筆触と色彩の美しさが際立ってきます。没後、美術評論家の針生一郎に見い出され、広く国内に知られるようになったこの作家の、公立美術館での単独の回顧展としては初めての開催となります。

上田市立美術館
2会場同時開催

1/13—3/10
年代記
上田クロニクル
上田小県洋画史100年の系譜



倉田白羊「雲のかげ」

山本県が撒いた美術の種は、戦前は倉田白羊の「ノア会」、戦後は岡鹿之助の「鹿苑会」などに繋がり、多くの若者に影響を与え、現在の上小地域の文化の基礎を形作りました。本展では、これらの歩みを数々の作家や作品を通じて紹介し、地域の美術史をアーカイブし、次代に残す試みを行います。

4/8—6/11
Replicant
—食卓のかたち—



札幌彩子
「パブロフの犬」

永遠に朽ちることがない食品サンプルの持つ神秘性に魅了され、創作をつづける現代美術作家、札幌彩子。現代社会を背景とした「食」をテーマとし、そこにアイロニカルな性格を忍ばせた彼女の作品は、日本人特有の「食」に対する精神性を撫で、鑑賞者との間に不思議な緊張関係をもたらします。現代性や通俗性を帯びた彼女の作品は私たちの「いつか」の記憶を呼び起こし、社会への問いかけや現代人の食への関わり方について見る者に語りかけます。

5/6
ナイトミュージアム

6/4
ナイトミュージアム

市民ギャラリー

8/2
ナイトミュージアム

9/9—10/15
東信濃工芸作家展 vol.08

ゲストキュレーターの陶芸作家・角りわ子が、東信地域で活躍する工芸作家の作品について、「地域と作家が自然と繋がる」をテーマに展覧します。

9/29
ナイトミュージアム

10/29
ナイトミュージアム

市民ギャラリー

市民の皆様にご活用いただけるよう「ふれあい館」を貸し出しています。



市民の皆さまの創作活動が発表できる場としてご利用いただけます。利用についてはお気軽にご相談ください。

■ 利用時間及び料金

全室1日 (午前9時30分～午後5時)	6,110円
------------------------	--------

※全面積は100㎡です。組立式の壁により展示室を仕切ることが可能です。

1/26
ナイトミュージアム

2/24
ナイトミュージアム